

セルリアン祭

四中

だよ

り

令和3年(2021年)

12月10日(金)

上田市立第四中学校
(担当) 教頭 石原英樹

※ホームページもご覧ください。「上田第四中」で検索 または <http://www.school.umic.jp/ueda4/>

新ステージバックのお披露目

～飛翔、そしてコロナ禍収束を願って～



10/28(木)の朝、生徒集会で新しいステージバックお披露目の会を行いました。

これは、美術部が伝統として毎年製作しているもので、これまでもコンクール等で表彰されています。例年はセルリアン祭に合わせて制作していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、夏休みからの部活動の中止・短縮措置がとられたため、セルリアン祭には間に合いませんでした。

そんなこともあり、美術部の中でも、今年度の製作をあきらめかけたこともあったようですが、コロナ禍を乗り越えて、無事に完成の日を迎えました。そんな美術部の苦労や努力が全校生徒にもよくわかっていたのでしょうか、ステージの幕が開き、作品の全部が見えると、体育館中から自然と温かい拍手が湧き起こりました。

このデザインは「飛翔～青空に向かって～」というセルリアン祭のテーマを下にしながらか、コロナ禍を乗り越えていくことを願い、「だるま」や「鳥居」が描かれています。

今年の美術部の3年生は3名と少人数でしたが、1・2年生と協力し合って、素晴らしいステージバックを制作することができました。3年生部員にとっては、3年間の活動の集大成としてこの日を迎えることができ、本当によかったと思います。同時に、これで運動部・文化部全ての部活動が1・2年生に引き継がれることになりました。

いろいろな思いの詰まったこの素晴らしいステージバックに日々励まされながら、2年生が先頭となっていく部活動・生徒会活動等の様々な活動が、「飛翔」していくことを願っています。地域・保護者の皆様には、学校にお越しの際には、体育館に足を運んで実際にこのステージバックを見ていただくと幸いです。



顧問と3年生部員

前日の貼り替え作業



様々な立場から考え、差別をなくすために ～人権同和教育研修会～



1年生の授業



2年生の授業



3年生の授業

11月25日(木)の午後に、四中ブロック(城下小・南小・第四中)人権同和教育研修会を実施しました。1・2・3年生の各1クラスが授業を公開し、授業や日常の中の人権同和教育のあり方を意見交換しました。指導者として、東信教育事務所の指導主事、上小地区の学校で人権同和教育推進に長く関わって来られた先生、また上田市教育委員会の方をお招きし、助言をいただきました。また例年は三校の多くの先生が参加をしていますが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、二つの小学校からは参加人数を各学年2名までと限定して参加していただきました。

1年生は、日常生活の様々な場面で、相手意識に立ってお互いの思いを伝え合うための「アサーティブな(=自分も相手も大事にする発想をもとに、自分の気持ち・考え、意見や希望などを率直にしかも適切に表現する)言い方」の良さを考え合いました。2・3年生は「同和問題」について学びました。2年生はペープサート(=紙人形劇)を元に、登場人物のそこでのセリフにある意図や思いについて意見を出し合いました。3年生は、結婚に関わる実際の部落差別問題についての文章を読み、自分たちで身の回りにある差別を解消していくための行動について考え合いました。その後のそれぞれの研究会でも、生徒の姿や学習カード・データを元に、活発に意見交換がなされました。



研究会の様子

私たちの心の中には、他者と自分を比べ、自分を上にしたいがために相手を見下してしまったり、自分とは違う立場・考え方の人を遠ざけようとしてしまったりする意識が生まれがちです。まずはそんな自身の心を素直に見つめ、理解する。その中でもいろいろな立場の人同士でよりよい社会を作り出していくために今後どうしていったら良いのかを自分事として考え、実生活で行動に移していく力をつけることが、人権同和教育では大切だと考えます。本校では、この日に見えてきた生徒・教職員の力と課題を元に、日々の学校生活の中で人権意識を高め、それに基づいて行動することで、様々な立場の人を認め、協働し、よりよい社会・集団を主体的に創造しようとする生徒が育つことを目指し、今後も様々な活動に取り組んでいきます。

本校の運営に対し、日頃より保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染防止対策について、ご家庭での健康観察や検温、ご家族も含めた体調不良時の連絡・相談などにご配慮くださり、本当にありがとうございます。今後も感染状況を見ながら、生徒の学びを可能な限り継続できるよう取り組んでまいります。地域や家庭での生徒の様子も含め、心配事・ご相談があれば、お気軽に学校にご連絡ください。